

キャラクター名 アルミナ・レッチ・ノース プレイヤー名  

種族	グラスランナー	種族特徴	マナ不干渉、虫や植物との意思疎通		
生まれ	旅人	性別	女性	年齢	16
冒険者Lv	5	経歴	育ての親に拾われた「父さん達は私の憧れなんですよ」 裏切られたことがある「今はもう恨んでなんてないですよ？」 身体に傷痕がある「見ないでくださいか？笑える様なものじゃないですから」		
経験点	550				

	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
技	器用度	7	6		24	4	フェンサー	5		
	敏捷度	11	6		28 + 2	5	スカウト	4		
体	筋力	2	2		6	1	セージ	1		
	生命力	16			18	3	エンハンサー	1		
心	知力	4	5		21	3	アルケミスト	1		
	精神力	16	3		31	5	ライダー	5		

戦闘特技				言語		会話	読文
挑発攻撃	1-287p		p	交易共通語	○	○	
回避行動	1-279p		p	ドラゴン語	○		
スローイング	2-228p		p	魔動機文明語	○	○	
			p	グラスランナー語	○	○	
			p				
			p				
			p				
			p				
			p				
			p				
			p				

練技/呪歌/騎芸/賦術		
ガゼルフット		
攻撃阻害		
威嚇		
騎獣強化		
HP強化		
人馬一体		
ミラージュデイズ		

技能	基本				必要				
	レベル	命中力	回避力	ダメージ	ランク	筋力	回避力	防護点	
ファイター	0					1		2-2	
グラッブラー	0								
フェンサー	5	9	10	6			1		
シューター	0								
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)							1		
回避技能							合計値	11	1

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3														
								4	5	6	7	8	9	10	11	12						
スティレット	1H	2		2d+ 9	9	6	2															
マレット 射程10m	1H投	1	2	2d+ 11	11	6	6															
ウォーターバルーン この武器が与えるダメージは水・氷属性の魔法ダメージです。使いきり消耗品	1H投	1	2	2d+ 11	なし	6	0															
スティールゲイズ(マレット・カスタム+1) <small>※使用時にダメージが1.5倍になり、属性が水・氷属性から魔法属性に変更され、魔法属性のダメージを2倍にする。</small>	1H投	3	3	2d+ 12	11	7	8															
				2d+																		
				2d+																		
				2d+																		

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP	魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
3 <sub>m</sub>	30 <sub>m</sub>	90 <sub>m</sub>	2d+ 11	1	35						
魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP							
2d+	8/4	2d+ 9	2d+ 8	2d+ 11	0						

装備品	説明	装備品	説明
頭	ピエロの帽子 ソラさんにもらった。アルミナにとっては熱帯に近い大切なもの		
耳			
顔	アイソアーマスク ET145P参照		
首			
背中	スマルティエの風切り布 ET145P参照 1Rの間、命中力と回避力に+2(18Rに1回使用可)		
右手	疾風の腕輪 敏捷度+2、破壊で一時的に+14		
腰	ブレードスカート ET147P参照 破壊攻撃に対する回避で4以上のダメージを受けた時に100%の回避を半減させるとして反響します。	左手	信念のリング
足			
その他	蓮の花の髪飾り フーカさんとお揃いの髪飾り。フーカさんに買い物のお礼としてもらった。		

その他メモ	自動失敗チェック
冒険に出た理由：家族をすべて失ったので	□□□□⑤
一般技能：芸人Lv6「成功しても失敗しても笑ってもらいたいですね！」	□□□□⑩
手品師Lv4「驚いた後笑ってくれたら嬉しいです！」	□□□□⑮
絵具師Lv2「フェイスペイントの為に勉強したんですよー」	□□□□㉓
一人称：「私」 二人称：「貴方」「OOさん」「OOちゃん」	□□□□㉔
酒の強さ:1d100→74    ギャンブルの強さ:1d100→99	□□□□⑤
これまで：	
気づいた時には一人ぼっちだった私を父さんは拾ってくれた。	
大道芸の一座で芸を学びながら育ち、一座は貴族様のお抱えになるまでになった。	
ある日郊外で蛮族に襲われた私達はあいつらが逃げる為の捨て駒として使われた。	

